

韓国の太陽光発電業界の活況

2008年5月25日

(株)グリーンファンド

メールマガジン第7号

バックナンバーの講読&本メルマガ送付のお断り連絡先:

<http://www.greenfund.co.jp/merumaga.html>

お元気ですか？ わたし 山内 は5月16日から27日まで韓国に滞在しております。

太陽光発電所の建設予定地を今まで16箇所ほど視察しました。明日は弊社と韓国の2社の3社間の合弁企業を設立するための交渉をします。

日本(を含め海外)から韓国に投資した投資家が当地で課税を免れる合法的なスキーム(TAX PASS スキーム)を作れることがわかりました。おそらくこのスキームを認知しているのは弊社だけだと思われませんが。(但し、配当を韓国から日本に送金する際には日韓租税条約で出資比率に応じて5%または15%の源泉課税がかかりますが、この課税された分も日本で外国税額控除を受けられます。それ以外はかかりません。)これで多くの投資家の資金を導入できると思います。

韓国には、ドイツは勿論のこと、スペイン、中国、イスラエル その他多くの諸国からPVプラント建設のための資材の売り込み 投資家が来ていて活況です。日本はこれら外国企業から無視(PASSING)されているみたいで悲しいです。

日本が不況である理由の一因が何か良くわかりました。それはアメリカのサブプライムのせいでもなく、中国のせいでもありません。日本自身のせいなのです。

とりわけ日本企業が新しいことに取り組む際の優柔不断さ、決断のスピードの遅さ、決断しても小出しに金を出す事によって絶好の機会を逃がしてしまうことによります。

韓国企業の意思決定の早さには驚きます。(もちろん 日本企業のように慎重にじっくり意思決定を行う利点もありますが、PV業界のようにスピードを要求される業界ではだめです。)

弊社では、今後投資家を募る際に、海外投資家のリクルートを75%、日本の投資家のリクルートを25%くらいの感じでやらないと絶対にだめだな と感じております。

弊社が2年前に進めていたスペイン 韓国の太陽光発電事業に投資をされた法人、個人の方が居られれば、今頃は海外の投資家から「その発電所の資産を売ってください」と引く手あまたであったことでしょう。今後もUSAの金利が下がってきますから好環境が継続することは変わりません。

また帰国後にお会いしましょう。（ソバが食いたい。） 山内